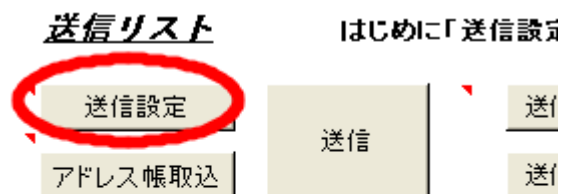


送信者・アカウント設定

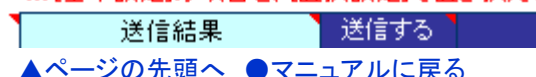
【アカウント設定 01】

アカウント設定は送信リストシートの《送信設定》から行います。



【基本設定】

※[基本設定]の項目を、[置換設定]で置き換える



【アカウント(送信者)設定 02】

《ユーザ設定》

送信者として送信先で表示される名前の設定を行います。

《送信者名(表示名)》

未記入の場合、相手に届いた際にはメールアドレスが表示されます。

《メールアドレス》

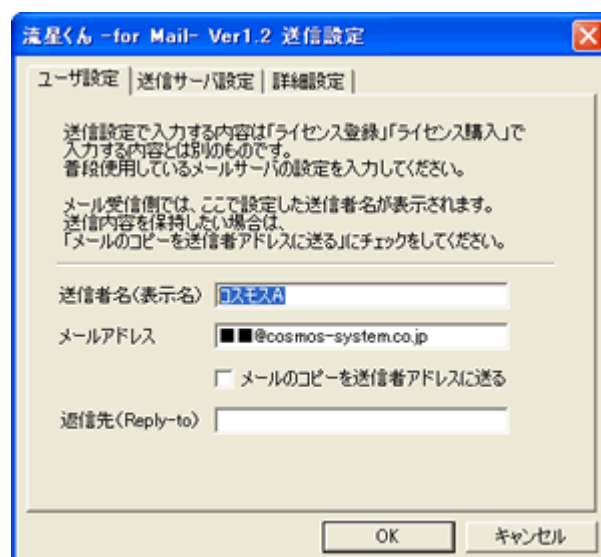
普段ご利用のメールアドレスをご記入ください。

《メールのコピーを送信者アドレスに送る》

チェックをつけると、送信元アドレスに、メールのコピーが送られます。

《返信先(Reply-to)》

返信先メールアドレスをご記入ください。



※流星くんは、通常のメールソフトを経由しません。
ですので、普段ご利用のメールボックスに送信内容が蓄積されません。

メール自体の保存は「送信元にメールのコピーを送る」ことで行います。

※メールアドレスを指定しないと、設定を保存することができません。

送信者名とメールアドレスを入力後、隣のタブ《送信サーバ設定》でご利用のサーバーの設定を書きこんでください。

【アカウント設定 03】

《送信サーバー設定》

設定する値は基本的に他のメールソフトと同じです。

《サーバー名》

ご利用のサーバを記入してください

《ポート番号》

初期値は25 認証を行う場合は587など

《認証を行う》

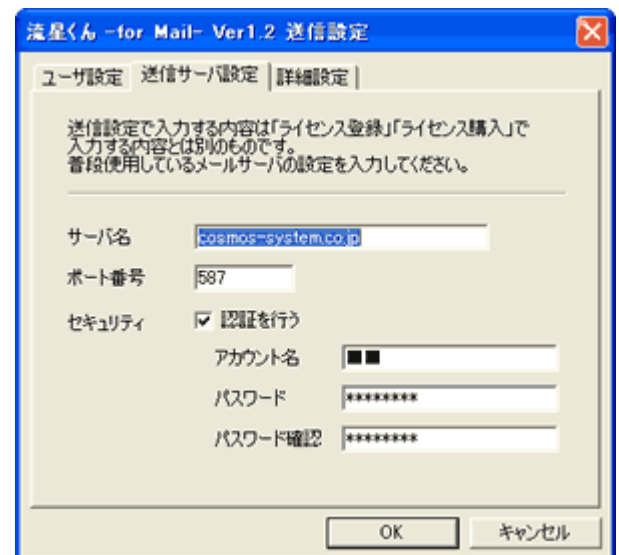
このサーバーには認証が必要(例: outlook)にチェックを入れている方は、こちらの設定が必要です。

《アカウント名》

ご自身所有のアカウント名

《パスワード》

そのパスワード



【アカウント設定 04】

《詳細設定》

その他の、サーバー及びユーザーに関する設定です。

《タイムアウト》

送信処理を取りやめるまでの時間の設定です。初期状態では60秒です。

※大きな添付ファイル・たくさん添付している容量が大きいメールは送信に時間がかかります。
テキストメールなら30秒前後、重い添付ファイルを送信する場合は200秒以上を推奨します。

《ウェイトタイム》

送信成功時に次の処理に移るまでの待ち時間です。初期状態では0秒です。

※サーバーによっては、間断なく送信されるメールをスパムメールの一種として認識し、送信できなくするものがあるようです。判定よけとして設定してください。

通常0から始め、様子を見て増減させてください。
この時間が長いほどサーバーに負荷をかけませんが、使用PCに負荷がかかります。



短いほど送信処理が早く終わるのでご利用のPCへの負荷が減少しますが、セキュリティやサーバーの問題にあたりやすくなる可能性があります。

《添付ファイル最大容量》

メールに添付されたファイルの総容量の最大値です。初期状態では10メガバイトです。

※添付ファイル容量はあくまでも「メールに添付された時」の容量です。

おおよそ、1.5倍のサイズになるとして計算しています。

添付しようとしているファイルそのもののサイズではありません。